

平成30年7月20日

保護者の皆様へ

千早赤阪村立千早小吹台小学校

校長 當麻 裕彦

通知表（あしあと）について

本校の通知表「あしあと」は、日ごろのお子様の学校での学習・生活の様子や状況をお知らせし、学校と家庭が同じ見方で、力を合わせて、お子様の望ましい成長に役立てていただくためにお渡ししています。

本校では、平成25年に当時の学習指導要領の趣旨を踏まえると同時に、より細やかでわかりやすいものになるように通知表「あしあと」の改訂を行いました。当時の具体的な改善点を今一度お知らせいたします。

- ①学習指導要領に示されている評価の観点である「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」などの観点をそれぞれの教科に設けました。また、公的な記録簿である「指導要録」の評価観点との整合性を確保しました。【左の部分】
- ②指導要録の評価観点の右側に「単元・領域別」の評価観点を文章で具体的に表記し、「何ができていて、何が不十分なのか。」がわかりやすいようにしました。【中央の部分】
- ③「英語活動」「総合的な学習」については、活動内容に触れながら、お子様の特によかった点などを文章で表記しています。
- ④生活の様子は、他人との比較や目標の到達度ではなく、個人内評価とし、日ごろのお子様の生活の様子を評価しています。

今回の通知表は、以上のようなこれまでの観点や書き方に変更はありません。また、他人との比較や位置ではなく、子どもたちが各教科のねらい（目標）に対して、どの程度到達できたかを3段階で評価していることについてもこれまでと同じです。

しかし、今年度から、道徳が「特別の教科『道徳』」として教科化されたため、その評価を3学期に記入することとなります。道徳の評価について、世間では道徳性を評価できるのかというような誤解もあるようですが、決して道徳の価値項目に対してABCなどの評価をするものではなく、年間の道徳の授業の中でのお子様の学習の様子や道徳性に係る成長の様子について、記述形式で評価するものとなっております。

評価の一例を書きますと

「正義のために命をかけた偉人の話を読んで、その場面で自分がとれる行動を話し合う中で、自分の考えをしっかりとって、周りに流されず正義を行うことの大切さについて考えていました。」
などです。

このように文章による記述が、「英語」「総合」「道徳」「年間所見」と多くなったこともあり「あしあと」の限られたスペースに記入するために、今回からは、シール台紙に印字したものを貼りつける方式にさせていただきました。

本日お渡しした「あしあと」でお知らせする評価を結果として断定的にとらえるのではなく、今後の指導の参考にしたり、生かしたりすることでこれからのお子様の成長につなげていくことが大切と考えています。

ご家庭におかれましては、通知表をもとにして学習や生活の中におけるお子様のがんばったところ、努力したところ、伸びたところ、そして課題に目を向け、励ましながら、お子様の新たな意欲や目標につながるようご活用いただければ幸いです。